

平成30年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 教授

氏名： 川 中 敬 一

研究課題		中印戦争(1962年)における軍事的動向に関する基礎研究
報告の概要	研究目的及び研究概要	<p>研究目的は、以下のとおりであった。 中国出版の中印戦争における軍事的記録を基軸に、中国が当該紛争を武力行使に昇華させ、いかなる思想に基づきいかなる軍事行動を採用したのかを整理し、その結果を日中間武力衝突回避及び武力衝突発生時の不敗を獲得するための参考を構築する。同時に、インド国防省が部内発行した資料を照合して、両者間の記録と主張の公平性を得る。</p> <p>研究概要は、以下のとおり。 第1に、中国軍事科学院出版文献及び当該戦争参加者による回顧録の一部を邦訳した。 第2に、インド国防省が内部発行した記録の一部を邦訳した。 上記2種類の資料に基づき、中国の武力行使に到る軍事的準備と軍事作戦の概要、インド側の軍事的動向を政治的動向と整合させた当該戦争の概要の多くが解明された。 なお、当初、資料翻訳は業者委託を予定していた。しかしながら、中国発刊の一部資料の特殊性により、複数の業者から、翻訳作業を拒否された。このため、翻訳は、小生自身により行ったため、当初予定していたよりも、翻訳作業が遅延しているのが現状である。</p>
	研究成果	<p>主用資料邦訳作業の遅延により、論文という成果に結実させるに至らなかった。しかしながら、中印両国の武力行使決定時期、プロセス、動員兵力という本研究における最も関心の高い部分の解明に至ることはできた。 その成果は、海上自衛隊幹部学校中国関連情報交換会における発表として得ることができたと思料される。</p>
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	なし
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	<p>①学会発表：川中敬一「北京オリンピックにおける中国の安全確保活動ー中国人民公安部レクチャーよりー」、警察政策学会、2018年6月15日、グランドアーク半蔵門 ②学会における討論者：「朝鮮半島の行方ー日本の安全保障を考える」、平成30年度 日本大学危機管理学シンポジウム、2018年7月20日、日本大学三軒茶屋キャンパス ③学会発表：川中敬一「我が先祖は如何に災害を乗り越えたか」、地区防災計画学会、2018年12月1日、日本大学三軒茶屋キャンパス</p>
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	④講演会：川中敬一『中印戦争の概要と教訓』、防衛省海上自衛隊幹部学校中国関連情報交換会、2018年11月30日、海上自衛隊幹部学校